2020 年 5 月 19 日

PhillipCapital
Your Partner In Finance
フィリップ証券株式会社

バンコク・ドゥシット・メディカル・サービシズ（BDMSn）
新型コロナウイルス感染防止のための様々な先進的取組みが、世界的にもモデルケースとして高評価へ

タイ | ヘルスケア施設 | 業績フォロー

BLOOMBERG BDMS:TB | REUTERS BDMS.BK

- 2020/12期1Q（1-3月）は、営業収益が前年同期比3.7%減、純利益が同69.6%減、調整後コア純利益が同12.2%減だった。
- 新型コロナウイルス流行への懸念および世界各国での渡航制限による外国人患者からの収入が減少したことが響き、減収となった。
- 新型コロナウイルス感染防止のための様々な先進的取組みは、タイだけでなく世界的にもモデルケースとして評価が高まろう。

What is the news？

5/13発表の2020/12期1Q（1-3月）は、営業収益が前年同期比3.7%減の200.03億THB、純利益が同69.6%減の25.68億THB。前年同期に一時的項目として計上した勤続20年以上社員への特別賞与引当金、変電所に係る首都圏電力公社への一括支払費用、およびラムカムヘーン・パブリック病院（RAM）の出資分の売却益計上の影響を除く調整後コア純利益では同12.2%減だった。また、調整後コアEBITDAが同5.5%減の47.90億THB、調整後EBITDAマージンが同0.5%ポイント悪化の23.9%だった。新型コロナウイルス流行への懸念および多くの国における渡航制限により海外の患者からの収入が減少したことが響き、営業収益は減収となった。

事業別の概況は以下の通り。①病院事業の営業収益は前年同期比4.6%減の188.82億THB。タイ人患者からの営業収益が同横ばい、外国人患者からの営業収益が同14%減だった。外国人患者からの営業収益は中東が同40%減、中国が同32%減、タイを除くアセアンが同9%減だった。外国人患者の対営業収益構成比は同4%ポイント低下の29%だった。また、ロケーション別の営業収益ではバンコク圏内が同6%減、バンコク圏外が同2%減。新型コロナウイルスの影響はバンコク圏内の方が大きかった。②商品販売事業の営業収益は同14%増の8.58億THB。傘下のA.N.Bラボラトリーズとメディファーマにおける新型コロナウイルス感染防止対策用品の販売増が寄与した。③その他収益は同17%増の2.63億THB。2019/6オープンの「モーベンピック・ウエルネス・リゾート・バンコク」が貢献した。

How do we view this？

同社は新型コロナウイルス感染から医者・スタッフ・患者を守るため、以下の対策を講じている。①病院内における隔離場所の特定、②PCR検査および抗体検査の実施、③アプリを通じたリアルタイムでの医師相談、④血液検査・ワクチン摂取・投薬のための電話相談および医師の自宅への出張サービス、⑤カメラおよびマイクロフォンが付いて患者に接するロボットの利用、⑥患者が自分で医療検査を行えるようにするための携帯デバイスの提供、⑦検査で陽性だった人に対して自宅隔離の代替場所となる宿泊部屋の提供などである。世界的に見ても先進的なモデルケースとして評価が高まろう。2020/12通期の市場予想は、営業収益が前期比5.5%減の781.53億THB、当期利益が同45.8%減の84.07億THB。

業績推移　※参考レート 1THB=3.35円

事業年度	2017/12	2018/12	2019/12	2020/12F	2021/12F
営業収益(百万THB)	71,932	77,372	82,722	78,153	86,405
当期利益(百万THB)	10,215	9,191	15,517	8,407	10,311
EPS(THB)	0.66	0.59	0.99	0.55	0.66
PER（倍）	29.85	33.39	19.90	35.82	29.85
BPS(THB)	4.07	4.49	5.27	5.38	5.69
PBR（倍）	4.84	4.39	3.74	3.66	3.46
配当(THB)	0.36	0.32	0.55	0.31	0.36
配当利回り（%）	1.83	1.62	2.79	1.57	1.83

（出所：Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg）

配当予想(THB)	0.31	（予想はBloomberg）
終値(THB)	19.70	2020/5/18

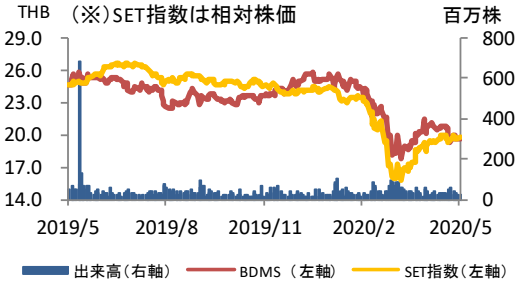
会社概要

1969年に診療所として設立。売上高、時価総額でタイ最大の民間病院運営会社。私立病院では売上高で世界トップ5に入る。タイ国内で46院、カンボジアに2院の病院を運営する。タイ国内初の民間心臓病院（バンコク心臓病院）や民間がん病院（ワタノソス病院）、小児病院（サミティベート小児病院）を開設するなど、タイ医療のパイオニアである。病院ネットワークはバンコク病院、サミティベート病院、ロイヤルバンコク病院、BNH病院、パヤータイ病院、パオロ病院の6つの主要な病院グループから構成されている。

医療サービスの質に定評があり、全48病院のうち26の病院および臨床プログラムが、ジョイント・コミッション・インターナショナル（JCI）の認定を受けている。様々な分野で留学経験のある質の高い医師や看護師を揃え、国内外の患者に最新の医療技術に裏付けられた治療を提供している。医療水準やサービスの質を維持するために、新たにネットワークに加わる病院は設備や人材、サポートシステムなどで基準を満たす必要がある。

企業データ（2020/5/19）

ベータ値	0.76
時価総額(百万THB)	313,072
企業価値=EV(百万THB)	338,840
3ヵ月平均売買代金(百万THB)	818.3



（出所：Bloombergをもとにフィリップ証券作成）

主要株主（2020/5）　（%）

1.Prasarttong-Osoth Prasert	16.66
2.STOCK EXCHANGE OF THAILAND	8.05
3.VIRIYAH INSURANCE CO LTD	5.97

（出所:Bloombergをもとにフィリップ証券作成）

アナリスト
笹木 和弘
kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp
+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】
本レポートの発行元：フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号
TEL:03-3666-2101　　URL：http://www.phillip.co.jp/
本レポートの作成者：公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

＜日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則　平14.1.25」に基づく告知事項＞